

12月に入ると「あれ?お山にサンタさんがいた。だって赤いのが見えたもん」と、子ども達はサンタさんが来てくれる事を楽しみにし、身近な存在となっていました。



「サンタさんからの手紙だ」
「見えたよって書いてある」
封筒には一人一人へのメッセージが入っていました。



子ども達のアイデアで園庭にツリーを出し、園の場所がわかるようにと手作りの旗や年長児が作ったホットケーキを周りに置きました。



【劇遊びが始まったよ】

山へ上がっていく道でサンタを発見!
「サンタさーん、ありがとー!」



劇に必要な靴や服を作りました。今までに経験したりボン結びや三つ編み、初めて挑戦する縫物。靴のかかとにペットボトルのふたを利用する等、工夫して作りました



今年の劇遊びは、こびとの靴屋です。大好きな絵本をもとに、子ども達がストーリーやセリフを考えみんなで作っていきます。

こびと役が自分の靴を作る時は、自分の足で靴型を取ったり、お客さん用の靴は家でお父さんの足型を取ってこようと相談したりしました。

靴屋がこびとにプレゼントする服は、友達の身長に合わせて不織布の大きさを決めたり、脇から裾までの長さを手で測って紐を切ったり等、工夫して作りました。